

## 「数学・理科甲子園」2年連続優勝！

令和3年11月27日

「数学・理科甲子園2021」がアクリエひめじで開催されました。神戸高校からは、「6 VECTORS」チームが参加しました。

まずは、予選の筆記競技。個人戦では3名が、それぞれ別に数学分野と理科分野の問題を解きました。団体戦では3名が協力して、数学分野と理科分野の問題を解きました。本校は参加58校中上位16校に入り（7位）、本選に進みました。

本選では実技競技が行われました。数学分野（3名）・理科分野（3名）で、思考的問題や実験に挑戦しました。上位5校が決勝に進出します。着実に点を伸ばした本校は4位で決勝に進みました。本戦での課題は次のとおりです。

1 直角二等辺三角形と台形を組み合わせ、条件を満たす多角形をできるだけ多く作る。

2 数え棒と割り箸を用い、高さと耐久性を兼ね備えた構造物を制作する。

決勝は、実技競技で6人が協力して、与えられたものだけを用いて実験を行い、プレゼンテーションを行うものでした。この結果、見事に優勝を勝ち取りました。決勝での課題は次のとおりです。

・岩石、プラスチック球、発泡スチロール球の密度を、与えられた道具のみで求める。

・密度を求めるに至る過程と考察についてプレゼンを行ない、総合的に判断して順位を決定する。

神戸高校生の優勝は、2年連続3回目です。神戸高校「6 VECTORS」チームは、「第11回科学の甲子園全国大会」(令和4年3月)に兵庫県代表として出場します。



岩石	$2.6 \text{ g/cm}^3$
プラスチック球 (BB 弾)	$1.015 \text{ g/cm}^3$
発泡スチロール球	$0.0912 \text{ g/cm}^3$

